

第4回 北海道代協 組織委員会 議事録

日時:平成29年1月20日(金)14:00~16:00

会場:ホテルライフオーツ札幌

出席者:細川委員長(札幌)・松田副委員長(苫小牧)・永井(室蘭)・小林(小樽)

玉山(千歳)・岩間(函館)・益子(釧路)

欠席者:海野(旭川)・押切(帯広)

1. 出席者・資料の確認
2. 委員長挨拶
3. 議事録作成者指名／永井(室蘭)

報告事項(松田副委員長)

1. 日本代協組織委員会報告

1月13日(金)日本代協事務所にて日本代協組織委員会が開催されました。

木下委員長より「酉年はお客様を取り込む縁起の良い年、飛躍の年とされています。世界中を見渡しても不確実の時代と言われ、先が読めない時代であり、学者や教授等の専門家の予想が大きく外れる事象も起きている。そんな時代だということ認識することが大切である。インダストリー 4.0(第四次産業革命)により IOT や人工知能 AI が進み様々なルールが変わってゆき、右肩上がりの経済成長だけを正義として信じ成し遂げてきたことが、もしかすると間違いであったかもしれないとの考えもある。とは言え、私たちの委員会では数値目標を達成し右肩上がりの成果を残していくことが仕事です。組織委員を中心に頑張ってください。」との挨拶がありました。

続いて小出副会長より「皆様、お疲れ様です。私からお願いしたいことは2月のキャンペーンを成功させること、年度末をしっかり仕上げることです。皆さんがリーダー役を果たしていただき、ご協力をお願いします。」との挨拶がありました。

各委員からの好取組事例の発表のなかで特に有効的な手段として、損保業務連絡会での「10分版の代理店賠償責任セミナー」を実施しているとの報告があった。

また連クォーター稼働について12月末60%以上の連クォーター達成代協は4代協あり北海道は-17%となっている。

まとめとして来年度の増強目標は各代協に自主的な数値を求めると共に日本代協は「年間プラス300店」の目標を理事会に提案したい。さらに外部へのアピールという意味でも組織率50%を指標とし継続的な計画を立てて頂きたい。

2. 入会報告・退会報告

入会25店、退会26店

前回から入店数は増えているが、それでも増減-1となっている。

目標の+30店へ向けて各支部で好取組事例などを参考に年度末には目標を達成できるよう取り組んでいきたい。

審議事項

1. 会員増強

釧路(益子)

SJ 卒業独立した代理店あり声かけしている。また各保険会社の業務連絡会に参加し代理店賠償責任セミナーなどを実施している。店主が出席していないことが多く入店までに時間がかかる。

函館(岩間)

増えてきているが伸び悩み、3月末までにはどうにかしたい。代協の話をしていると DRP に興味を持ってもらえるところがある。今後は代理店賠償に加え DRP の説明も前面に押し出していききたい。

千歳(玉山)

正直、増店は厳しい状況。千歳には MS 1社しか支店がないことや代理店自体が少ないのが要因。そんな中でも声かけだけは継続してやっていきたい。

小樽(小林)

退会2店、入会1店と現状ではマイナスだが3月末までにはなんとか目標を達成したい。入会の見込みあり。

室蘭(永井)

厳しい状況ではあるが、現在1店の入会见込みあり。なんとか3月末までに目標の2店増を達成したい。

苫小牧(松田)

今月1店入会があった。他にも入会の見込みあり。また代理店店主の代替わりのタイミングで入会を勧めたい。

各社、独立を前提とした研修生を取らなくなってきたことから新規代理店は望めない。退会理由などから今後も代理店の統廃合などが増え代理店自体が減っていくことが予想される。その中で如何に会員数を減らさないかという考え方に変わっていくのではないかと。

2. 国民年金基金

前回の伊藤専務理事の話にもあったように、現在の代理店に対する政策では国民年金であること自体が逆行していることになる。

3. 審議事項1, 2について好取組事例や問題など

業務連絡会へ参加し代理店賠償セミナーを開催することや、各保険会社へ紹介を依頼するなど出来ることをやる。

4. その他

次回開催日は日本代協組織委員会が4月14日のため、その翌週を予定するが確定ではない。決まり次第連絡します。